

基本調査票

本調査票は、貴事業所の基本的な概要について記載していただくものです。

本調査票の記入日： 平成 30 年 1 月 19 日

設置・運営主体	川口市		
設置主体			
経営主体	株式会社 日本保育サービス		
事業所名 (施設名)	川口市立川口駅前保育園	種別	保育所
所在地	〒 332-0015 埼玉県川口市川口1-1-1 キュポラ8F		
電話	048-222-6011		
FAX	048-222-6011		
Email	GSP30005@nifty.com		
URL	http://www.nihonhoiku.co.jp/		
施設長氏名	山崎 町子		
調査対応担当者	山崎 町子/網谷 雄大 (所属、職名：園長/本部運営支援課)		
利用定員	120 名	開設年	平成 18 年 4 月 1 日
理念・基本方針			
<p>【運営理念】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. セーフティ（安全）&セキュリティ（安心）を第一に 2. お子様が一日を楽しく過ごし、思い出に残る保育を 3. 利用者（お子様・保護者ともに）のニーズにあった保育サービスを提供 4. 職員が楽しく働けること <p>【保育理念】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 自ら伸びようとする力 ・遊びや生活の中で子どもたちの感受性や好奇心を伸ばし、「自ら伸びようとする力」を育てることを目指す。 2. 後伸びする力 ・目先の結果を期待するのではなく、様々なプログラムや行事を通して子どもたちの感受性や好奇心を伸ばし、生涯にわたる基礎を作り、後伸びする力を育てる保育を目指す。 3. 視覚・聴覚・味覚・触覚・嗅覚の五感で感じる保育 ・四季や自然の力を体感させ、視覚・聴覚・味覚・触覚・嗅覚の「五感で感じる保育」の充実を目指す。 <p>【園目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・いきいき遊べる子 ・はなしをしっかりと聞ける子 			
開所時間 (通所施設のみ)	(基本保育時間) 月～土 午前7時00分から午後6時00分 (延長保育時間) 月～金 午後6時00分から午後8時00分		

【利用者の状況に関する事項】

○成人施設の場合（老人福祉サービスを除く）

18歳未満	18～20歳未満	20～25歳未満	25～30歳未満	30～35歳未満	35～40歳未満
名	名	名	名	名	名
40～45歳未満	45～50歳未満	50～55歳未満	55～60歳未満	60～65歳未満	65歳以上
名	名	名	名	名	名
					合 計
					名

○老人福祉サービスの場合

60歳未満	60～65歳未満	65～70歳未満	70～75歳未満	75～80歳未満	80～85歳未満
名	名	名	名	名	名
85～90歳未満	90～95歳未満	95歳以上	合 計		
名	名	名	名		

○保育所の場合（通常保育）

	定 員	利用児童数	クラス数	1クラスあたり 平均児童数	1クラスあたり 平均保育士数
0歳児	9	9	1		3
1歳児	15	15	1		3
2歳児	18	18	1		3
3歳児	24	27	1		3
4歳児	27	27	1		2
5歳児	27	27	1		1
計	120	123	6	—	—

（注）1クラスあたり平均児童数は2クラス以上ある場合に記載。非常勤保育士等については常勤換算で計算。異年齢児クラスはその区分ごとに記載。

○保育所の場合

常勤職員数		27 人	
うち	保育士	21 人	保健師・看護師 1 人
	栄養士・調理員	3 人	その他（事務、保育補助） 2 人
非常勤職員数		3 人	（常勤換算 2.56 人）
うち	保育士		人（常勤換算 人）
	保健師・看護師		人（常勤換算 人）
	栄養士・調理員	2 人	（常勤換算 1.81 人）
	その他（保育補助）	1 人	（常勤換算 0.75 人）
<p>（注）常勤換算計算式 非常勤職員：それぞれの週あたりの勤務延時間数の総数÷当該保育所の常勤職員が勤務すべき時間数。栄養士・調理員：調理業務を委託している場合には「委託」と記載。</p>			
（2）前年度採用・退職の状況	採用	常勤： 3 人	非常勤： 人
	退職	常勤： 2 人	非常勤： 人
（3）常勤職員（うち保育士・保健師・看護師）の平均年齢		32.2 歳	（ 41.1 歳）
（4）常勤職員（うち保育士・保健師・看護師）の平均在職年数		5 年	（ 5.4 年）
<p>（注）現在の保育所での在職年数。ただし、同一の運営主体（法人・自治体）内の児童福祉施設間の異動は通算可（公営の場合には保育主管課在職期間も通算可）。小数点以下第二位を四捨五入。</p>			

【本来事業に併設して行っている事業】

（保育所を除く）

（例）救護施設における通所事業（定員5名）

--

(保育所の場合)

事業名	実施の有無	利用料
乳児保育	○	—
延長保育	○	1時間延長 スポット：250円、 月極：2500円 2時間延長 スポット：400円、 月極：4000円 補食150円、夕食400円
休日保育		—
障害児保育	○	—
一時保育	○	1時間：500円
地域子育て支援センター	○	イベントの内容による
乳幼児健康支援一時預かり事業（病後児保育）		
アレルギー等対応給食	○	—
その他（事業名： ）		

(注) 実施事業には有無欄に○を付し、利用料を記載する。自主事業も含む。

【ボランティア等の受け入れに関する事項】

・平成 29 年度におけるボランティアの受け入れ数（延べ人数）

93 人

・ボランティアの業務

- ・中学生高校生の保育職業体験
- ・読み聞かせ（おはなしたまてばこ）
- ・コーラスなど

【実習生の受け入れ】

・平成 29 年度における実習生の受け入れ数（実数）

社会福祉士 0 人

介護福祉士 0 人

その他 6 人（保育士、看護師）

【施設の状況に関する事項】

※耐火・耐震構造は新耐震設計基準（昭和56年）に基づいて記入。

○成人施設の場合

(1) 建物面積	m ²	
	入所(通所)者1人あたり	m ² (延べ床面積÷定員)
(2) 居室数 (入所施設の場合)	個室	室
	2人部屋	室
	3人部屋	室
	4人部屋	室
	5人以上の部屋	室
(3) 耐火・耐震構造	耐火	<input type="checkbox"/> 1. はい <input type="checkbox"/> 2. いいえ
	耐震	<input type="checkbox"/> 1. はい <input type="checkbox"/> 2. いいえ
(4) 建築(含大改築)年	平成	年
(5) 主な設備		

○保育所の場合

(1) 建物面積 (保育所分)	1611 m ²	
	児童1人あたり	13.43 m ² (計算式: 建物延べ床面積合計÷定員)
(2) 園庭面積	856.2 m ²	
	児童1人あたり	7.14 m ² (計算式: 園庭面積合計÷定員)
(3) 耐火・耐震構造	耐火	<input checked="" type="checkbox"/> 1. はい <input type="checkbox"/> 2. いいえ
	耐震	<input checked="" type="checkbox"/> 1. はい <input type="checkbox"/> 2. いいえ
(4) 建築(含大改築)年	平成	18年

【サービス利用者からの意見等の聴取について】

貴施設（事業所）において、提供しているサービスに対する利用者からの意見を聞くためにどのような取り組みをされていますか。具体的にご記入ください。

- ①園に意見箱の設置
- ②第三者評価の実施（川口市からも実施）
- ③利用者アンケート
- ④運営委員会の実施
- ⑤個人別連絡ノート
- ⑥一日保育士体験の実施

【その他特記事項】

貴施設（事業所）の特徴的な取り組み等について具体的にご記入ください。

- ・保護者との連携…掲示の今日の様子に写真を取りいれたり、園ブログでこまめに様子を伝えている。また、園内の活動の様子をインターネットを利用して写真販売をしている。
- ・看護師が発信する今日の健康状況のお知らせや誤嚥時の対応を持ち帰り可能なパンフとして作成した。
- ・不審者対応訓練を月1回実施するようにしている。警察の指導も仰ぐ。保護者の方には、ネームプレート着用を強化して、玄関に立ち会わせて、挨拶の実施。
- ・食育活動の取り組みでは、給食の野菜くずを利用した有機肥料作りの栽培活動の継続。米の栽培をきっかけに米粉、豆乳ケーキ作りをクッキング保育で行った。
- ・緊急時の対応として、アクションカードに沿って、訓練を行っている。心肺蘇生（CPR）訓練を毎月取り入れている。
- ・園庭の有効活用…時間やエリアを分けて、午前、午後と活用。子育て支援の園庭開放も行っている。
- ・子育て支援センターの開放。一時保育や見学者の受け入れを行い、子育て相談等に応じる。
- ・園庭のエコ活動（絵本の寄付、包装紙折り紙、上履きのリサイクル他）を通し、保護者参加の場を作る。

【第三者評価の受審状況】

- ・受審回数（前回の受審時期）

_____ 11 _____ 回 （平成 _____ 28 _____ 年度）